

試合結果報告 (GAME REPORT)

大会名称/Title:	第 22 回日・中・韓ジュニア交流競技会 バasketボール競技 女子	
会 場/Venue:	一関総合体育館 Uドーム (岩手県一関市)	
期 日/Date:	平成 26 年 8 月 25 日 (月) 10:00~	試合区分:

【 試合結果 】				
日本	82	$\left(\begin{array}{r} 14 - 16 \\ 30 - 12 \\ 23 - 6 \\ 15 - 6 \end{array} \right)$	40	韓国
(1 勝 0 敗)		-		(0 勝 1 敗)

1 ペリオド

カットとスクリーンとスクリーンを多用し、#9 金津怜の 1 対 1 でゴールを狙う韓国に対して、日本はインサイドにボールを入れてオフENSEを組み立てるが思うように得点が伸びない。日本は残り 5 分にオールメンバーチェンジ、#14 佐々木の 3 ポイントで 10-5 とリードするが、韓国 #9 金津怜を止められない。残り 19 秒、韓国 #9 金津怜が 3 つめのファウル、ベンチへ退く。14-16、韓国リードで 1 ペリオドを終える。

2 ペリオド

攻撃の軸を欠く韓国は日本のディフェンスに対しターンオーバーを重ねる。韓国は #13 金珉廷のポストプレイを中心にオフENSEを組み立てるが、思うように得点が伸びない。日本は韓国のターンオーバーを誘発してのブレイク、#10 脇梨奈乃のインサイド 44-28 とリードを広げる。残り 21 秒、韓国 #13 金珉廷が負傷し、ベンチへ退く。

3 ペリオド

韓国はディフェンスをゾーンに変え反撃を試みるが、攻撃の中心選手を欠きターンオーバーを繰り返す。日本は韓国のゾーンに対し、#6 後藤沙奈、#10 脇梨奈乃のポストプレイを中心に得点を重ね、67-34 とリードを広げる。

4 ペリオド

両チームともベンチメンバー中心のゲームになる。韓国はオフENSEの動きが良くなるが、シュートを決め切れない。対する日本は韓国のターンオーバーを誘ってのブレイク、高さを生かしたゾーンオフENSEで得点を重ね、82-40 で日本が勝利した。

担当者: 岩手県高体連バスケットボール専門部

所属: 青木 裕信